

令和7年度 第23回病気療養児の教育研修会 報告

大阪大学医学部附属病院分教室

1 はじめに

「病気療養児の教育研修会」は、大阪大学医学部附属病院の協力を得て毎年実施している。以下、概要を報告する。

2 概要

日時 令和7年7月28日(月) 14:00～17:00

場所 大阪大学医学部附属病院 14階会議室

対象 大阪府内の公立小中学校・高等学校の教職員

大阪府内の支援学校の教職員

本分教室に在籍した児童生徒の地域校の教職員(府外・私立学校を含む)

内容

(1) 講演「心臓疾患児の学校生活について」

大阪大学大学院医学系研究科 小児科 講師 成田 淳 様

<主な内容>

- ・心臓疾患の病態と治療について
- ・心臓疾患児への支援において、学校現場で気をつけること
- ・医療と教育の連携に関して

(2) 実践報告「心臓移植待機の児童生徒について」 首席 桑名 智寛

<主な内容>

- ・心疾患児の分教室の在籍状況
 - ・心臓移植待機中に児童生徒が感じていること
- (詳しくは、実践報告Ⅰ「心臓移植待機中の児童生徒について」を参照)

3 アンケート結果報告

(1) 参加者について

小学校、中学校、支援学校などから57名の参加があった。

(申込用紙集計)

| 所属 | 小学校 | 中学校 | 支援学校 | その他 | 合計 |
|----|---------|---------|-------|-------|----|
| | 27(47%) | 22(39%) | 5(9%) | 3(5%) | 57 |

| 職種 | 養護教諭 | 支援学級 担当 | 院内学級 担当 | 一般学級 担当 | その他 | 合計 |
|----|---------|------------|------------|------------|--------|----|
| | 24(42%) | 15(26%) | 5(9%) | 4(7%) | 9(16%) | 57 |

*表の数値は人数を、カッコ内は割合を表している。

Ⅲ 公開講座

(2) アンケート回答

○講演の感想より

今回の講演を通じて、参加者からは次のような意見が寄せられた。

まず、心臓疾患に関する知識を得る機会がこれまで少なかったため、教員自身がしっかりと学び、正しい知識を身につけることの重要性を強く感じたという声が複数あった。

また、心臓疾患のある児童生徒や心臓移植を受けた児童生徒が通う学校で勤務する教員からは、「不必要な過度の制限をかけてしまっていたかもしれない」との振り返りとともに、「体調を考慮しながら、できるだけ様々な体験をさせてあげたい」という前向きな意見が挙げられた。

さらに、「本人や保護者の気持ちを大切にすること」や「保護者や主治医と情報を共有しながら支援を行いたい」という意見も複数寄せられ、関係者との連携の重要性が改めて確認された。



○実践報告の感想より

まず、「分教室での取り組みを知る機会がなかなかなく、心臓移植待機の児童生徒の日頃の様子を知ることができてよかった」といった感想が複数あった。児童生徒との関わりに関しては、「臨機応変に対応していく柔軟さや行事も工夫して実施されているのを知った」や「どうしたらできるかを考えることの大切さを感じた」といった感想が見られ、当分教室で使用している退院時連絡ノートについても活用してみたいとの感想があった。

また、心臓移植を受け、現在は社会人になっている卒業生のエピソードに関して、「今まさに病気と闘っている児童にとって、本当に大きな励みになると思った」との感想が見られた。



4 考察とまとめ

講演は、心臓疾患に関する理解を深めることができる機会となった。参加者の中には、心臓疾患のある児童生徒が学校生活を送るうえでの行事などの学校活動や生活上の制限への不安を抱いている参加者もいたが、医師や保護者、本人と連携しながらできる限り参加できるようにすることの大切さを学んだという声があった。

実践報告では、心臓移植待機の児童生徒の分教室での生活や支援、心臓移植を受けて現在は社会人となった卒業生のエピソードを交えて報告することができた。